



新年のご挨拶

大分大学医学部附属病院長

津 村 弘

平成27年、新年おめでとうございます。昨年12月1日より、大分大学医学部附属病院長を拝命いたしました。重責ではございますが、全力を尽くす決意ですので、昨年までと同様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

現在、本院は、新しい医療需要に対応でき、未来を見据えた病院に生まれ変わるべく大規模な再整備を行っております。新病棟は一昨年完成しました。東病棟の改修は、資材の高騰や人手不足から、若干遅れておりましたが、本年夏には完了する予定となっております。また、外来棟の増築と改修もスタートしています。工事の騒音や駐車場の不足、今後、心配される外来の待合スペースの不足など、皆様にはたいへんご不自由、ご迷惑をお掛けいたしますが、なにとぞお許し頂きたいと思っております。なお、その期間におきましても、医療の質には影響がないよう、万全の対応をいたしますので、ご安心ください。

日本の医療政策は大きく変わりつつあります。最も大きな変化の一つは、医療の病院完結型から地域完結型への転換です。治療にある程度の期間を要する病気にかかった時、今までは一つの病院で治るまで診てもらうのが普通でした(病院完結型)。新しい政策では、いろいろな病院や医院はそれぞれ異なる役目を持って(病床の機能分化の促進)、一人の患者さんを段階に応じて治療していくことを目指しています(地域完結型)。また、在宅医療を推進しています。このような考え方は、まだ、社会に浸透しているとは言い難いのですが、医療機関には強く求められており、本院のような高度急性期病院では、治療が終了するまで入院していただくことが困難となっております。このため、地域医療連携機能を拡充・強化し、患者さんのスムーズな入院・転院に対応したいと考えています。

皆様、新しい年を迎え、良い一年になることを願っていらっしゃると思います。私たち職員一同も、医療を通じて、皆様のお役に立ちたいと気持ちを新たにしております。



教授就任挨拶

消化器・小児外科学講座

猪股 雅史

平成26年10月1日付けで、消化器・小児外科学講座の教授に就任いたしました猪股雅史(いのまた まさふみ)と申します。私は大分県で生まれ育ち、昭和63年に本学を卒業し、以後25年間、外科医として本院を中心に国内外の医療施設で研鑽を積み、大分の地域医療の活性化に取り組んで参りました。

【診療のモットーは？】

「患者にやさしい外科治療」を実践し、すべての患者さんに「元気と癒しを与える医療」をモットーとしています。「大分県の患者さんは、大分県で治さなければならない」と感じており、「大分大学だからこの病気が治った」と言われるように、日々、チーム一丸となって最良の外科医療の提供に取り組んでいます。



回診の様子

【対象となる病気は？】

- (1) 消化器がん(食道・胃・大腸・肝臓・胆道・膵臓などの悪性腫瘍)
- (2) 薬で治りにくい炎症(胆石症・炎症性腸疾患)、機能異常(ヘルニア・直腸脱)
- (3) 腸閉塞や交通外傷などの腹部救急疾患
- (4) 小児の手術が必要な病気(虫垂炎・小児腫瘍など)
- (5) 高度な肥満(内科的治療で治らない、糖尿病を合併した状態など)

【診療の特色は？】

からだの負担の少ない腹腔鏡手術は、日本のリーダーとして、その普及を積極的にすすめています。胃腸の機能を温存しうる新しい手術方法や、癌患者の治療成績向上のために抗癌剤や放射線療法と組み合わせた集学的治療も導入し、患者さんの病態に応じた最適の治療法選択も特色のひとつです。



腹腔鏡手術の様子

消化器や小児外科の病気に関することで、わからないことがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



八方塾(大学病院市民公開講座)のご案内

第3回目となる八方塾が、平成26年11月5日(水)に開催され、「腰痛とロコモ(運動器症候群)」を総合テーマとして、リハビリテーション部の片岡診療教授が「ロコモティブシンドローム」、整形外科の宮崎講師が「腰痛と脊柱管狭窄症」、リハビリテーション部 川上理学療法士が「ロコチェックとロコトレ」について講演しました。

60人以上の市民の方が熱心にメモを取られていました。ロコモ度テストやロコモ予防のための運動(ロコトレ)も紹介され、模範実技を見ながら来場者自らが運動を行うなど、たいへん好評でした。



第4回八方塾は呼吸器・感染症内科の主催で、下記日程で開催する予定です。申し込みや予約は不要で、無料ですので、どうぞお気軽にお越しください。

日時 平成27年3月11日(水) 18:00~19:00
場所 大分大学医学部附属病院 外来ホール
テーマ 「慢性の息切れ」

問い合わせ先：大分大学医学部医事課 患者サービス係

☎097-586-5430・5431 (平日9:00-17:00)

駐車場は、医学部附属病院の外来駐車場をご利用ください。当日用無料チケットを配布します。

多数傷病者受け入れ訓練

本院では、平成26年10月23日に多数傷病者受け入れ訓練を行いました。本格的に災害対策本部を立ち上げて大規模な訓練を行うのは、初めてのことでしたが、240名もの参加者があり、皆さん、真剣に取り組んでいただきました。多数の傷病者を同時に受け入れるのは、通常の診療体制では困難であり、対策本部に加えてエリアを設置して対応を行います。トリアージエリアで傷病者の重症度を判断して、赤エリアでは重症者を、黄エリアでは中等症者を、緑エリアでは軽症者の診療・治療を行います。ここ30年の間に南海トラフ大地震が起こる確率は、70%と言われており、大分県も甚大な被害を受けると想定されています。さらには、津波のために沿岸部の病院は、機能停止に陥ります。このため、本院は大きな使命を担うこととなります。災害対策室では、災害訓練やセミナーなどを通じて、大分大学での災害対策の向上を目指しています。



(文責 災害対策室)

シリーズ

病院再整備

現在の建物は、昭和56年の開院から30年以上が経過しており老朽化・狭隘化しているため、病棟・外来棟・中央診療施設の建物増築・改修工事の病院再整備事業を実施しています。

病院再整備期間中、患者さん、ご来院の皆様には、騒音、振動等で大変ご迷惑をおかけすることとなりますが、何卒ご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

平成26年10月から始めました外来棟増築工事につきましては、増築部分は6階建てとし、現在のライトコート(中庭)部分は待合モールとして整備する予定です。今後の外来棟関連の工事予定は以下のとおりです。



平成27年

3月頃：ライトコート(中庭) 廻りに仮設間仕切壁を設置

6月頃：外来待合ホールに仮設階段設置

7月頃：外来待合ホール大階段撤去

10月頃：増築工事完了後改修工事に移行

平成29年11月頃完成予定

(文責 病院再整備推進室)

シリーズ

サービス向上への取組み

6階新病棟の“和みの空間”

本院6階新病棟は、腎臓外科・泌尿器科、皮膚科、形成外科、麻酔科の混合病棟です。小児から高齢者まで幅広く対象とし、外科的療法だけではなく薬物療法や軟膏処置など多種多様な治療や処置を受けられる患者さんの看護を行っています。

その病棟入り口の一角に、幅140cm、奥行90cmほどのフリースペースが新たに設けられました。平成26年4月から毎月当番制で2名の看護師がアイディアを出し合って装飾をしています。初めて入院する患者さんの不安や緊張感を和らげたり、小児の患者さんにも喜んでいただけるような和みの場にしたいという思いからスタッフ一同で取り組んでいます。

4月の桜から始まり、5月は鯉のぼり、6月はあじさい、7月は花火、8月は海水浴、9月は月見、10月はハロウィン、11月は紅葉、そして12月はクリスマス。どの月も力作ばかりです。担当する看護師は患者さんの笑顔に出会いたい、話の花を咲かせたい一心で一生懸命趣向を凝らしています。その結果として患者さんだけではなく、病棟スタッフ全員が笑顔になり、お互いの作品を認め合い、よりよいチームワークの醸成につながっています。おかげで日頃の看護にもプラスに作用しており、私も誇らしく感じているところです。

皆さん、機会がございましたら、是非一度見にいらしてください。

(文責 6階新病棟看護師長 草地真由美)



ふれあいコンサートについて

本院では、つらい治療や、長期の入院生活を頑張っている入院患者さんに少しでも楽しんでもらおうと、年2回7月と12月に院内の外来ホールで、「ふれあいコンサート」を開催しています。

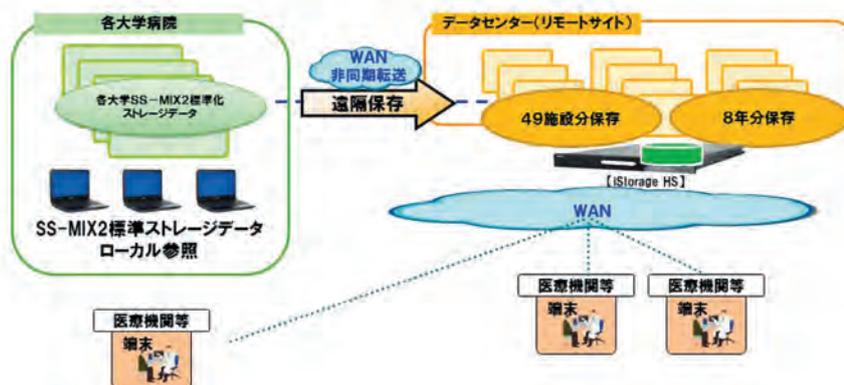
今回、平成26年12月18日に開催しました。外来ホールにクリスマスツリーを設置し、会場に季節感を取り入れました。学生ボランティア、職員が、患者さんの車椅子搬送を行い、学生のジャズサークルとコーラスの2団体が出演し、幅広い年代の方に馴染みのある曲、クリスマスソングなどの曲目を演奏し、和やかな雰囲気に包まれました。



(文責 病院企画係)

電子カルテシステムデータの遠隔バックアップについて

本院は災害等非常時に備え、国立大学病院医療情報システムデータの遠隔バックアッププロジェクト(参加全国49施設)に参加しており、電子カルテシステムに記録した患者さんの診療情報の一部を、厳しく管理された複数の国内のデータセンターに外部保管しています(図)。これにより大災害時等に、患者さんの同意等があれば、保管された診療情報を他の医療機関でも参照することができます。災害直後には、データセンターと同じ診療情報が本院にあるコン



ピュータにも保存されており、ノート型のコンピュータで参照します。大災害時に備えて患者さんの大切な診療情報を守るため、国立大学病院が共同で進めているプロジェクトですので、何卒ご理解をいただきますようお願いいたします。

(文責 医療情報部 三宅秀敏)

大分大学医学部附属病院の理念等について

【理 念】

本院は、「患者本位の最良の医療」を基本理念とする。さらに、高度先進医療の開発と提供をとおして、倫理観豊かな医療人を育成し、地域社会の福祉に貢献する。

【基本方針】

本院は、

- 一 患者本位の医療を実践する。
- 一 医療の質及び医療の安全性の向上に努める。
- 一 医学、医療の発展と地域医療の向上に寄与する。
- 一 教育、研究、研修の充実を図る。
- 一 病院の管理・運営の合理化を推進する。

【患者さんの権利】

- 個人の尊厳が尊重され、良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気、検査、治療などについて、十分な説明を受け、理解した後、治療方法などを自らの意思で同意又は拒否を選択することができます。
- 自分の診療記録について、本院の規則に則って情報の提供を求めることができます。
- 診療における個人情報を守られ、プライバシーが最大限尊重されます。
- 教育実習及び研究の協力者となることを断ることができます。
- 医療行為の選択にあたっては、他の医療機関を選択することができます。
- 診断や治療方法について、他の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
- 身体の不自由な方、外国人の方にも、できる限りの支援をいたします。

【患者さんにまもっていただくこと】

1. 良質な医療を実現するため、医療従事者に対し、患者さん自身の健康の情報を詳しく正確に伝えてください。
2. 納得できる医療を受けるために、検査や治療の内容を十分理解し、不明な点については十分質問し、合意の上でお受けください。
3. 病院内・敷地内での喫煙は禁止されています。
4. 飲酒や他の方々への迷惑行為は、禁止されています。
5. 携帯電話の使用制限をしている場所での使用はご遠慮ください。
6. 病院内の設備や備品は、大切にご使用くださるようお願いいたします。破損、紛失などの場合は弁償していただくことがあります。
7. 暴力、暴言、セクシャルハラスメント、ストーカー行為があった場合は警察に通報することがあります。
8. 医療費の支払い請求を受けたときは、速やかにお支払いください。
9. 入院時は、
 - 1) 事故防止のため多額の現金や貴重品は、持ち込まないようお願いします。
 - 2) パソコン・DVD・ラジカセ等の電気製品は、持ち込まないようお願いします。
 - 3) 当院での駐車場は、外来患者専用となっておりますので、入院中は駐車場を利用できません。
10. 入院中は、
 - 1) 病院内ではリストバンドを着用してください。
 - 2) 外出・外泊をする場合は、医師・看護師長による外出・外泊許可証をもらってください。

大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411 (代)

大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

1号から59号までの「かけはし」は、医事相談窓口にありますので、遠慮なくお申し付け下さい。また、医学部附属病院ホームページからもご覧いただけます。

